

2025 年 8 月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1
(名称) 長電バス株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 鈴木 立彦

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
(1) 長野市、須坂市、千曲市のバス路線沿線住民を中心とした通勤・通学者の利用のための移動手段 (2) 長野市、須坂市、千曲市のバス路線沿線住民を中心とした沿線商業施設等への利用のための移動手段 (3) 長野市、須坂市、千曲市のバス路線沿線住民を中心とした長野市内・須坂市内・千曲市内の総合病院等の医療機関への通院のための移動手段
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
(1) 事業の目標 生活交通利用者に対する継続的な運行を提供するため利用者数及びニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。 効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。 ＜定量的な目標＞ 2026 年度輸送量目標値 : 24.0
(2) 事業の効果 長野電鉄屋代線廃線に伴い、2012 年 4 月 1 日より電車からバスへ移行するという大きな輸送形態の変更を実施し、長野市内、須坂市内及び千曲市内への移動手段を確保することにより移動制約者の日常生活を支え、特に通院される高齢者の生活環境等を維持することが図れる。今後は沿線地域の活性化につながることも期待される。
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
事業：屋代須坂線の維持 実施主体：長野市公共交通活性化再生協議会、須坂市地域公共交通会議 千曲市地域公共交通活性化協議会、長電バス
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者
補助系統：屋代須坂線 運送予定者：長電バス
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	自治体	事業者
2025.10～ 2026.9	27,858 千円	7,738 千円	7,738 千円	12,382 千円	
※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額					
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法					
(1) 2012 年 10 月導入、長野市路線バス I C カードシステム導入に伴う交通サービスの 利便性向上 (2) 長野電鉄の電車運賃適用により、バス運賃より安い運賃体系で運行している。 (3) 電車運行当時と比べ停留所を増やしている。 (4) 車いす乗降停留所、乗降可能便を設定して交通サービスの利便性の向上を行った。 (5) 若穂病院停留所を新設し安全面、利便性に配慮した運行経路の変更を行った。 (6) 2020 年 4 月 減便を実施。 (7) 2024 年度から働き方改革の一環として元日を全便運休 (8) 2024 年 8 月 減便を実施 (9) 2025 年 3 月 運賃改定実施 (10) 2025 年 3 月 地域連携 IC カード導入					
7. 別表 1 の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの 運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>					
該当無し					
8. 別表 1 の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村 に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>					
須坂市					
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期 及びその他特記事項 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>					

(1) 取組内容

- ・通勤、通学の需要取り込みを行うと共に、将来の利用者となりうる小学生に向けて「バスの乗り方教室」講習を実施する
- ・イオンモール須坂経由による利便向上

(2) 実施主体

須坂市地域公共交通会議、 長野市公共交通活性化再生協議会
千曲市地域公共交通活性化協議会、長電バス

(3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年１％以上の増加を目標とする

(4) 実施時期

2025 年秋頃

(5) その他特記事項

2025 年 9 月 26 日にイオンモール須坂経由に伴う、ダイヤ改正と運賃設定を実施。
また、同系統における運行形態の見直しを沿線自治体と協議する。

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
該当無し
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
別紙地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）の通り
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
（１）事業の目標
別紙地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）の通り
（２）事業の効果
別紙地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）の通り
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
別紙地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）の通り
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
別紙地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）の通り
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当無し
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
（１）事業の目標
該当無し
（２）事業の効果

該当無し
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当無し
18. 協議会の開催状況と主な議論
・長野市公共交通活性化再生協議会 2025 年 8 月（予定） ・須坂市地域公共交通会議 2025 年 8 月（予定） ・千曲市地域公共交通活性化協議会 2025 年 8 月（予定） ・長野市、須坂市、千曲市協議において、事業内容について協議し計画全体について合意（予定）
19. 利用者等の意見の反映状況
・高齢者用 IC カードの利用促進を図る ・地域連携 IC カードの普及促進の広報をしバス利用を促す ・バスの乗り方教室の開催

【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）長野市村山 471-1

（所 属）乗合バス課

（氏 名）武田 雄一

（電 話）026-295-8008

（e-mail）rosenbus@nagadenbus.co.jp